

令和5年度

Livedo オンラインセミナー

講師紹介



岡田 晴恵(おかだ はるえ)氏

白鷗大学教育学部 教授
医学博士

専門は、感染症学、公衆衛生学、児童文学。
共立薬科大学(現慶應義塾大学薬学部)大学院修士課程修了後、
順天堂大学大学院医学研究科博士課程で学ぶ。
ドイツ・マールブルク大学医学部ウイルス学研究所留学(アレクサンダー・フォン・フンボルト奨励研究員)、国立感染症研究所研究員、日本経団連21世紀政策研究所シニア・アソシエイトなどを経て現職。

感染症をテーマに絵本や小説を創作。読み聞かせや映像化などで、感染症の理解を効率よく正確に広めることを思考している。



香川 寛(かがわ ゆたか)氏

特定非営利活動法人リハケアリングネットワーク 理事長
作業療法士

介護保険事業、コンサルティング事業、セミナー事業を運営。
ポジショニング、シーティング、ノーリフティングケアを中心に
福祉用具の活用法、重度化予防のためのケア技術など、年間
200回以上の研修・セミナーを開催。
法人の理念は、『歳をとっても、障害があっても「自分らしい暮らし」が保障される「尊厳のあるケア」が当たり前な地域・社会の実現に尽力する』

現場に寄り添い、介護される方の思いも汲み取り、事例を交えながらの講義で定評がある。



鍵屋 一(かぎや はじめ)氏

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授
一般社団法人 危機管理教育研究所 主席研究員

地域防災全般、特に自治体の防災対策全般、災害時要援護者支援、福祉施設の事業継続計画(BCP)、マンション防災、地区防災計画などを研究、実践している。障がい者の防災を考える、地域防災力を高める、福祉施設のBCP作成研修等講演実績多数。

政府や自治体等多数の防災関連の委員を歴任。社会活動や講演活動を積極的に行い、防災・危機管理の情報発信を行っている。



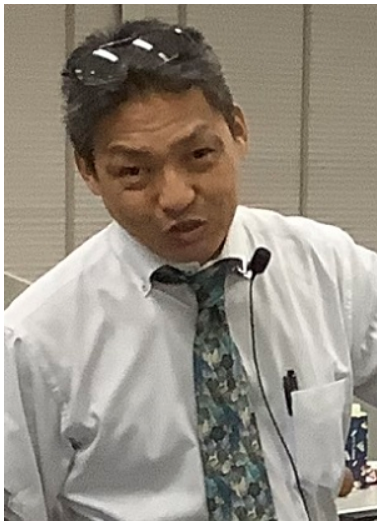
梶川 義人(かじかわ よしと)氏

日本虐待防止研究・研修センター 代表

桜美林大学／淑徳大学短期大学部 兼任講師

20年間、特別養護老人ホームなどの介護施設で勤務し、処遇困難事例、家族問題担当ソーシャルワーカーとして働く。その後、特別養護老人ホームの業務アドバイザーを約10年間務める。複数の大学の非常勤講師、自治体の高齢者虐待防止に関する委員会の委員、事例対応のスーパーバイザーを務めるとともに、複数の自治体等の中の社会福祉審議会委員も兼任。

人生をかけて障がい者・高齢者の虐待問題の解決に尽力されている。



川澄 弘喜(かわすみ ひろき)氏

多摩大学大学院 医療・介護ソリューション研究所

介護保険施設 運営・経営アドバイザー

介護保険施行前より、特養施設長から地域包括支援センター管理者、介護保険施行後は、介護老人福祉施設、居宅介護事業所の管理者に従事しながら旧ヘルパー講習、認知症介護研修、ケアマネ更新研修等の講師を担当し、東京都第三者評価者、一般企業など介護保険事業以外でも幅広く、経験を積み続けている。

経験を活かしたファシリテーターとして、前向きな姿勢のお手伝いをします。



川瀬 善美(かわせ よしみ)氏

白鷗大学 名誉教授

福祉をビジネスの視点から捉えていくべきと、早くから提唱してこられた。全国各地の高齢者施設・病院の経営コンサルタントとしても活躍。理論面だけでなく、介護施設現場の実情も熟知し、介護保険制度を生かした施設経営学の講演や、職員向けの研修も好評。

北欧、イギリス、ドイツの介護事情や、米国、豪州、韓国の介護ビジネスにも精通。

社会情勢を踏まえ、歯に衣着せぬ語り口で、現状打破の知恵や工夫を明解に伝える点が人気です。



菊地 雅洋(きくち まさひろ)氏

北海道介護福祉道場あかい花 代表
社会福祉士

社会福祉士、介護支援専門員等の資格を保有し、『人を語らずして介護を語るな』シリーズ等の著者として知られる。
そのほか多数の著書を出版しており、最新の「きみの介護に根拠はあるか～本物の科学的介護とは」も人気が高い。

ブログで介護関係の最新情報や持論を公開しており閲覧者数が多数。



金 志純(きむ ちすん)氏

株式会社東京リハビリテーションサービス 看護師
摂食・嚥下障害看護 認定看護師

主な活動として、2014年に設立された「NPO法人 口から食べる幸せを守る会」で理事として、全国で講演や実技セミナーを開催。2015年から、日本赤十字広島看護大学 摂食・嚥下障害看護認定教育課程で非常勤講師を務め、現在は在宅ケアにおいて食べることが困難な方への支援を広げていくために活躍中。

食べることに困難を感じている子どもから高齢者までが、適切なケアや支援を受けられる社会を目指し人材育成に尽力。



河端 みのり(こうば みのり)氏

NORI'S 代表
日本看護協会 認定看護管理者

卒業後急性期領域・腎移植領域で16年余りの臨床経験を積み、その後看護基礎教育で専任教員を経験。再度臨床に戻り教育専従師長、看護副部長、看護部長を歴任。小規模医療施設・非急性期医療施設の教育改革を専門とする。
2020年9月NORI'Sを立ち上げる。

「NORI'S THE NURSES」では、小規模医療施設の臨床看護教育・看護の質向上を目指して取り組んでいる。



繁田 雅弘(しげた まさひろ)氏

東京慈恵会医科大学 精神医学講座 教授

一般社団法人 栄樹庵 代表理事「SHIGETAハウスプロジェクト」代表
医療法人社団影耀会 メモリーケアクリニック湘南 名誉顧問

認知症診療のオピニオンリーダー。学会活動のみならず東京都認知症対策推進会議など都の認知症関連事業や、専門医やかかりつけ医の認知症診療の講習や研修に長く関わり、市民向けの講演活動も精力的に行なっている。

医療の枠にとらわれず、認知症の人をいかに支えるかを追求している。



清水 昇一(しみず しょういち)氏

公益財団法人 結核予防会 新山手病院 感染対策室

感染管理認定看護師

約10年間手術室看護師として臨床経験を積んだ後、感染管理認定看護師の資格を取得。その後感染管理担当の専従看護師として活動中。

現場の声を大切にしながら、感染対策を向上していけるよう多職種連携により医師や専門職を含めて取り組んでいる。

高齢者施設でのクラスター対策の支援も手掛けている。



杉浦 永子(すぎうら ながこ)氏

第一印象研究所 代表 人材育成コンサルタント

一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントコンサルタント®、一般財団法人ハラスメント対策協会ハラスメント対策アドバイザー等、他多数資格を有す。

介護職、客室乗務員の経験を活かし、講師歴は15年以上。

セミナー、研修の総受講者数は3万人以上。医療、介護、福祉分野の研修を得意とする。

セミナーの特色は、【楽しく・分かりやすく・実践に繋がる！】をモットーにしている。

一度依頼するとまた依頼したくなる研修と講演会と評判で、依頼先からの満足度も高い。



西田 壽代(にしだ ひさよ)氏

足のナースクリニック代表

日本トータルフットマネジメント協会 - JTFA 会長

卒業後聖路加国際病院、東京海上ベターライフサービス株式会社、駿河台日本大学病院をへて2010年より現職。病院や高齢者施設、訪問看護ステーション等と提携し、フットケアやWOC分野におけるスタッフ教育や患者ケア、多職種連携・調整等を実施している。また、講演、執筆活動などを通じ、フットケアの啓発をライフワークとし活動を行っている。

協会や学会設立に携わり、医療従事者専門のスクールの開講等フットケアのすそ野を広げる活動を行っている。



新田 敦子(にした あつこ)氏

一般社団法人いきいき長寿アカデミア 代表理事

臨床検査技師、医療環境管理士

国内外の紙おむつメーカーで排泄ケアと向き合い、さらに病院で排泄ケア教育担当として実務と関わった経験から、現場の方々に沿うケア養成講座・セミナーを開催。

現在、厚生労働省の政策「健康日本21(健康長寿)」の実現に向けた健康長寿社会を目指すための講座・イベント、「男性更年期障害」についても啓蒙活動を展開している。

基本からの理論が分かりやすく、即応性がある講座で人気の講師。



畠山 誠(はたけやま まこと)氏

医療法人溪和会 江別病院 CNルーム師長

皮膚・排泄ケア認定看護師

「下剤だけに頼り過ぎない排便ケア」をもっと「3日に1回は必ず便を出す」というルーチン化した排便ケアの見直しを提唱している。排泄ケアは「病院(施設)の医療・福祉食の通信簿」と捉え、対象者の栄養や日常の姿勢、生活リズムなど生活支援全般を見つめ直す重要性を伝えている。

現場ですぐに実践できる講義内容でありながら、医療・福祉職ともに分かりやすいと全国で人気。

細川 香代子(ほそかわ かよこ)氏

医療法人財団 荻窪病院 看護部長

認定看護管理者

東京医科大学病院付属看護専門学校卒業後、東京医科大学病院救急救命センター入職。医療法人恵山会丸山病院看護部長、医療法人誠馨会セコメディック病院 副看護部長・メディカルセーフティマネージャー、セコム医療システム株式会社病院支援本部課長、荻窪病院看護部長、セコム医療システム株式会社看護師特定行為研修センター長、東京看護協会勤務を経て2023年1月より現職。



医療安全管理を専門分野とし、医療事故防止や危険予知訓練に関する研修の講師を多数務める。

矢吹 知之(やぶき ともゆき)氏

認知症介護研究・研修仙台センター研修部長

東北福祉大学総合福祉学部 准教授

アルツハイマーカフェの創始者ベレ・ミーセン氏に師事し2015年から仙台市で認知症カフェ「土曜の音楽カフェ♪」を開催。また、認知症の人のピアサポートの場「おれんじドア実行委員」を務める。専門は社会学、社会福祉学、認知症介護(特に、介護家族支援)。



認知症の人と家族どちらにも偏らない関わりや支援とは何かを考えている。

(50音順)

チーム講義



病棟看護師:張灵宝先生

医師:秋山和宏先生

管理栄養士:中村和彦先生

作業療法士:高品尚子先生

薬剤師:大塚菜月先生

WOC:浦田克美先生

臨床検査技師:佐野由美先生

東葛クリニック病院 排便サポートチーム

チームのmission 「『自分らしいと思える排便』を支える」

★ 副院長 秋山和宏(あきやま かずひろ)氏

医療の質はチームを編成することで格段に向上すると思っています。常に患者さまの声に耳を傾けた結果、排便サポートチームが誕生しました。排便の問題は古くて新しい問題です。活用できるすべての技術と多職種協働の力で排便サポートを前進させたいと考えています。

★ 看護部主任/WOC 浦田克美(うらた かつみ)氏

排便サポートチームの排泄問題のゴールは、一人一人異なるから多職種チームが必要です。現在の野望は、排便サポートチームが他施設でも実働できるようフランチャイズ化することです。

★ 薬剤部 薬剤師 大塚菜月(おおつか なつき)氏

便秘に対して、ただ下剤を追加するだけでなく、本当に患者さまに必要な薬は何かを考えるように心掛けています。患者さまに寄り添った薬の追加、減薬の提案を行っています。

★ 栄養部 管理栄養士 中村和彦(なかむら かずひこ)氏

「食べる」ところから排便をサポート。食事摂取という入口だけでなく、排便という出口まで関わっていける管理栄養士を目指しています。

★ 看護部 病棟看護師 張灵宝(ちょう れいほう)氏

排便サポートチームと患者さまの橋渡しとして、チームで検討した内容を病棟看護師と共有し、患者さまの苦痛を緩和できるように心がけています。

★ 検査部 臨床検査技師 佐野由美(さの ゆみ)氏

超音波診断装置(エコー)を用いて大腸内の貯留便を可視化することで、根拠に基づいた便秘分類を行っています。エコーの弱点を克服した、どんな条件でも、どんな人でも直腸を描出することができる経臀裂アプローチ走査法を考案し、便性状分類も可能となり、適切な看護ケアに貢献しています。

★ リハビリ室 作業療法士 高品尚子(たかしな なおこ)氏

正しい姿勢でトイレ排泄ができるようなリハビリを提供しています。